

▶ 雑田掘の親水路にて



平成17年第3回定例会

平成16年度各会計の決算を認定

平成17年度府中市一般会計補正予算(第2号)など41議案を審議

平成17年第3回定例会は、9月5日から10月3日までの29日間の会期中に開催されました。

市長提出議案は、平成16年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定をはじめ、平成17年度府中市一般会計補正予算(第2号)や指定管理者制度導入に伴う条例改正など41件を審議した結果、可決27件、認定9件、承認2件、同意3件となりました。また、請願1件、陳情5件が審議されました。

一般会計

歳出総額83.6億円

各事業を積極的に展開

平成16年度一般会計歳入歳出決算は、予算総額86.5億417万8000円に対し、歳入決算額は、85.0億8685万2000円で、執行率98.4%、歳出決算額は83.6億3565万6000円で、執行率96.7%です。

なお、歳入歳出差引額から繰越明許費等を除いた12億3815万8000円が実質収支額となります。

この議案の提出に当たり、市長から「市税収入については、前年対比で個人市民税は減収したが、法人市民税及び固定資産税が増額し、0.9%の増収となっている。また、歳出では、経常経費の削減等、内部努力により支出を抑制し、収支の均衡を保つように努めてきた。

平成16年度は、市制施行50周年という記念すべき年であり、1年を通して市民の皆様とともに様々な記念事業を実施し、その喜びを分かち合った。

こうした中、就学前の全児童を対象とした乳幼児医療費の無料化や高齢者在宅介護支援センターの充実と見守りネットワークの構築等、各種福祉施策を推進した。

また、水と緑のネットワーク拠点整備基本計画の策定や地域防犯パトロールなどを実施するとともに、市民会館・中央図書館複合施設新築事業などを開始した。

更に、都市基盤の充実に努めたほか、環境、観光、教育など、各分野で一定の成果が得られたものと考えている」等の説明がありました。

決算特別委員会は、9月22日から29日まで開催され、5日間にわたり慎重な審査が行われました。

10月3日に開催された本会議では、賛成・反対討論が行われ、「行政サービスの向上に努めてきたことを評価し、賛成する」、「市政の発展と市民要望の実現を目指し、多くの施策を展開した成果を評価し、賛成する」、一方、「一層の市民サービスの充実に向けた市政への切換えを求め、反対する」、「市民との協働の進め方が不十分であり、反対する」等の意見がありました。

採決の結果、賛成多数で平成16年度一般会計歳入歳出決算が認定されました。

17年度補正予算

平成17年度一般会計補正予算(第2号)が提出され、歳入では法人市民税の増収等、歳出では府中駅周辺への防犯カメラの設置に係る補助金や成年後見制度に係る調査研究費及び市立小学校への警備員配置に係る経費等、歳入歳出それぞれ19億9207万2000円を増額補正したもので、審議の結果、全会一致で可決されました。

人事議案

定例会最終日の本会議に、市長から監査委員の選任の同意を求め、議案と人権擁護委員候補者の推薦の同意を求め、議案が提出され、次の方々が、同意されました。

■監査委員

本村 龍 氏 (53歳)

■人権擁護委員候補者

室 惇 子 氏 (58歳)
宮崎 清 美 氏 (55歳)